

「未来を創造し、社会に貢献する人材の育成」

令和元年度 柳津町立会津柳津学園中学校

学校だより

令和2年1月 7日(火)発行 第 35 号 発行責任者:高橋 弘悦

謹賀新年

本年もどうぞよろしく願いいたします

雪のない穏やかな正月となりました。「温暖化が進行しているのではないか」と不安にもなりますが、とても幸せな気分で新年を迎えることができました。

本日始業式を迎えました。年末にはインフルエンザの流行がありましたが、子どもたちは元気いっぱい登校、満を持して3学期をはじめることができました。一層のご指導、ご支援をよろしく願いいたします。

会津柳津学園中学校職員一同



新年を迎え、清らかな気持ちとともに活力がみなぎってまいります。現在では、正月の風景もかつてのような、カルタやコマ回し、双六や福笑いといった風情を感じることは少なくなりました。正月のテレビ番組でも様変わりする日本の正月を報じており、日本的なよさが徐々に失われていくのではないかと危惧する声も聞かれました。善し悪しはともかく、学校も世の中のめまぐるしい移り変わりや多彩な変化に対応していくことが望まれています。

こうした世相もあり、ビジネス・採用の現場では『問題解決力』が注目され、求められているとのことです。起こっている問題点を正しく理解し、解決策を立て実行する。そして、その結果を検証し、計画の見直しや次の計画への反映を行う能力です。端的に言うと、『筋道をつけて回答、方向性を出せる力』ということになります。

令和2年度から移行期間に入る新学習指導要領では、こうした力が求められるようになります。時代の変化に合わせて、本校でも「考える力、筋道立てて話す力、新しいものを生み出す力」の育成に力を入れていきたいと思いをします。

東北大会で大健闘

12月24日から青森で行われた令和元年度 東北中学校バドミントン選手権大会に福島県代表として2年生 金子 玄くんが出場し、1回戦勝利、2回戦でもベスト4に入った青森山田中の選手と互角に渡り合いました。

青森山田戦では、不運な試合中断で、追い上げムードが途切れてしまい、残念な結果となってしまいましたが、東北でも十分戦える力があることを証明してくれました。



中村 勇耶 (星・豊後大入道彦樹)	2	21-14	0
佐 沢 樹 (秋・玉城一幸)	0	16-21	0
西部 陽翔 (山・米沢二幸)	2	21-13	0
金子 玄 (国・会津桐蔭学園)	2	22-18	0
松戸 柊羽 (岩・胆沢)	0	12-21	2
本宮 颯人 (青・青森山田中)	2	21-17	2
		22-14	
		22-18	

令和元年度第3学期始業式式辞

令和2年1月7日

明けましておめでとうございます。2学期末はインフルエンザで大混乱でしたが、今日、ここに十五日間の冬休みが無事に終了し、3学期をはじめられることを、とても嬉しく思います。

始業にあたり、「志を高く」というお話をします。

イソップ童話に「カラスと水差し」という寓話があります。知っていますか？水を飲みたいと思ったカラスですが、くちばしが届かない。そこで、カラスはせっせと水差しに石ころを入れます。すると水位が上がって、めでたく水にありつくことができた、というお話です。

どんなに難しい事も、あきらめずに頑張れば、必ず成功します、といういかにも校長先生がお話しするような逸話ですが、2020年という記念すべき年の幕開けにもう一つお話をします。

これも壺のお話です。これをいっぱいにしたい。皆さんなら、まず何をするでしょう？手っ取り早いのは、大きな石を入れることです。先ほどのカラスもそうするでしょう。

これで壺は満杯？いやいや、小石が入ります。これで壺は満杯ですか。まだまだ。砂が入ります。これで壺は満杯ですか。そうです。水が入ります。

先に大きな石を入れないと、つぼを満すまで回り道をしなければなりません。大きな石が入る余地がなくなるからです。では、私たちにとって大きな石とは何でしょう。それは、仕事であったり、志であったり、家族であったり、自分の夢であったりする。つまり、「大きな石」とは、何かをしようとする「意志」です。

新しい幕開けに、皆さんがどんな夢や目標を持ったか分かりませんが、「何かをしようとする意志」が皆さんにとって一番大切な物です。それを最初に壺に入れましょう。

さて、その意志、志を壺に入れたならば、次は何をするか。

先ほどのつぼの話を例にすれば、小石や砂、水ですき間を埋めることです。それが、日々の何気ない生活の充実です。

ここに示したのはメジャーリーグの大谷翔平選手の目標達成シートです。「ドラ1 8球団」という大きな目標を実現する小さな目標が書かれています。

さて、令和元年度も3学期を残すのみとなりました。志を高く持った3年生の残り少ない中学校生活の送り方に期待しています。柳学中のリーダーとなる2年生の志を高くもった行動に期待しています。柳学生らしさが身についてきた1年生の高い志に支えられた行動に期待しています。

いよいよ、最後の仕上げの3学期です。
柳学中で学んで良かったと思えるような1
日1日を送り、前を見ながら、チャレンジ
する柳中学生であることを祈って式辞とします。

[illegible]